

品川宿 会報みこしだこ 2017年 新年度版 2017年5月発行 第49号

10周年を迎えた「しながわ運河まつり」の夢、そして未来へ



しながわ運河まつりも10周年を迎える事が出来ました。10年前はほぼ予算が無く、出店店舗や出演者に声をかけて出店・出演して頂き、スタッフも少ない中開催していました。年々、スタッフとなる仲間も増え、出店店舗や出演者も集まり、お祭り自体の規模も自然と大きくなり今年を迎える事が出来ました。今年も企業とのコラボレーションも行い、協賛企業様もかなり参加していただき、大変盛り上がる事が出来ました。長年、海上公園で熱気球を上げたいと言いつつ、10周年目にして念願の熱気球搭乗体験を目玉コンテンツとして行うことが叶いました。雨にも関わらず多くの方が集まってくれ、不安定な天候のなか土曜・日曜合

せて約180人の搭乗体験を実現できました。また、物産展や骨董市など新しいコンテンツにもチャレンジしてみました。ステージもメインステージだけでは出演者が収まらないくらい集まったため、ポンプ場屋上の庭園でスカイガーデンステージを開催し、2ステージ構成にもチャレンジし大成功しました。今年も、天候に恵まれなかったのですが、それでも1万人以上の集客があり、とても愛されているお祭りを実感することが出来ました。来年以降もまだまだやりたいことは盛りだくさんありますので、地域・企業・仲間と誰でも受け入れられる品川らしい楽しいお祭りをしていきたいと思っています。(なぎさの会 大澤 淳)

御用船がつなぐ和太鼓と演舞、ダンスパフォーマンス祭 ~八丈島・品川沖・羽田沖より~

観光資源発掘/東京都実証事業に際し、当協議会が企画提案者として堀江新三会長のもと、各事業を大盛況に終えられました。八丈島での交流会、羽田空港でのPR事業、品川宿六行会ホールでのシンポジウムの三事業に加え、PR冊子(多言語)、動画、

HP作成などの情報発信、お土産ふるしき作成など、会員はじめ多くの皆さまのご協力でもとても良い事業となりました。やっぱり行動って大事ですね。やってみてわかることがたくさんあり、人のつながりが一段と広がった感じを感じています。お隣の大田区の良さ(お

みやげや銭湯巡り)を実感したり、八丈島のスポットや食材のものめずらしさなど、連携っておもしろいと心から思いました。毎度のことながら、(反省と共に)前進して、貢献し続けたいですね。(渡辺裕一)

<品川宿史談会>第一回講演会開催される

平成29年2月に発足した品川宿史談会は、4月23日(日)第一回公演会を開催し、席が足りないほど大勢の参加者に恵まれました。講演は品川宿・幕末博徒の話。講師は国立歴史民俗博物館高橋敏名名誉教授。先生は歴史家が今まで扱わなかったアウトローの研究者で、平成16年、国立歴史民俗博物館で企画展「民衆文化とつ

くられたヒーロー・アウトローの幕末維新史」のプロデュースをされ、品川台場築造時の侠客の世界に話題を広げた方です。台場築造時、日動5千人と云われる労働者に多くの無宿人がかき集められ、大場久八と言われた侠客がそれらを差配した様子が語られました。無宿人の世界は正史には残らない世界で、残存する文献は

ほとんどありません。この講話録は今年度末の品川宿史談会講話録誌に掲載、販売されます。今回は、7月23日(日)の予定。講演は昭和40年代の北、南の「品川再開発研究会」と目黒川の環境問題に取り組んだ、品川教会佐伯洋一郎元牧師の活動を通して、現代の品川宿の課題と活動の原点に付いての講演と致します。詳細は5



月中旬以降に品川宿交流館にポスターの掲示。参加募集のパンフレット配布がされる予定です。(新実正義)

補い合いつつ、品川宿周辺の活性化の力になればと思っています。(市川真也)

せて実践しています。(市川真也)

品川キッズハロウィンパレード



地元保育園の保護者の方から、商店街で子供のためのハロウィンのお祭りをやりたい!という声が発端となり、予算ゼロの中、商店街や周辺住民の方々の協力のもと毎回多くの参加者で盛り上がるイベントとなっています。まだまだスタートしたばかりですが、これからも子どもたちを中心とした、品川宿の大きなイベントの一つになれば嬉しく考えています。<https://www.facebook.com/shinagawahalloween/> (パリスマドンナ)

御殿山トラストシティ 東京マリオットホテル



御殿山トラストシティでは、この春4回目となった「御殿山さくらまつり2017」をしながわフェスウィークと連携して開催。今年は書道パフォーマンスや音楽のステージ、歴史にちなんだ鷹匠撮影会や遠州流茶道の茶席などコンテンツを充実させ、さらに品川周辺の桜やオススメスポットの紹介パネルや御殿山町会の神輿の展示など品川ならではの魅力を紹介。満開の桜の中、多くの方が遊びに来てくださり、楽しいイベントとなりました。(佐藤未希)

景観に配慮した自動販売機ラッピングの取り組み



「旧東海道品川宿真交町会」のラッピング自販機についてご紹介させていただきます。3月28日(火)設置先の宝善家そば店(旧内藤酒店・品川川2-12-3)の内藤様始め、ご関係の皆様のご協力とご支援を賜り、ラッピング自販機が完成しました(写真)。歴史と伝統ある「品川宿」のまちなみとの調和を図りながら、訪れる方々にも「品川宿」ラッピングの自販機で購する楽しさも感じていただければと考えております。(東京キリンビバレッジサービス株式会社 江口 彰)

東京サラヤCSR年間取り組み



まちづくり協議会を通じ、地域とのコミュニケーションとして継続してCSR活動を進めています。現在では台場小や城南第二小などで「手洗いの重要性」やサラヤのウガンダ活動の紹介をする「出前授業」を行ったり、品川フラワーレンジャー(しながわみどり)と花のボランティア活動に参加したりと地域の方々と一緒に精力的に活動をしています。これからも、まちの人たちと一緒に活動を楽しみむことを継続していきたいと思っています。(小野文義)

ママかつ



2015年より在宅子育て中のママたちがイキイキ活動し続けられるように「出会い・つながり・情報交換の場」を提供しています。そしてこの度、これまで多くの皆さまのご協力を得ながら、ママの活動支援をして参りましたが、株式会社を設立する運びとなりました。～ママと、街と、新しいコトを～ M-coto株式会社 「この街に住んで良かった」と思える「場」と「コト」をM-cotoが創造します。新拠点としてさくらから五反田も加わり、北品川、大井町、大崎、目黒など7ヶ所となり、これまでと変わらず「ママかつ」の活動も続きます。(杉山由美恵)

東海道ゴミ拾い駅伝



「ゴミ拾い駅伝」は2006年に学生によって始められた社会貢献活動です。当時の学生らが2011年に設立した「NPO法人もう一つのプロジェクト」に引き継がれ、社会問題をも一つの切り口から解決に結び付けていく活動を行っています。現在では、国内外の歴史的な街並やエリアに中継所を設け、襷をつなぎながら、「社会貢献活動としてのゴミ拾い」と「競技・エンターテインメントとしての駅伝」をバランスよく掛け合わ

地域活動団体、イベント支援・協力

特定非営利活動法人ふれあいの家 ~おばちゃんち



公園や施設を飛び出し、まちの中に子どもたちの声が響き渡る「忍者修業の旅」と「とうきょうご近所みちあそび・緋毛氈ロード」は、いずれも品川宿界隈のみなさんの応援、参加協力が欠かせませんが、さらに地域の方々と共に楽しむにはどうしたらよいかを考えています。また5月7日より、旧東海道を数キロ南下した勝島で「しながわこども冒険ひろば」をおばちゃんちが運営することになりました。「北浜」共々よろしくをお願いします。(幾島博子)

北浜こども冒険ひろば



子どもがたき火をすることのできる公園が旧東海道品川宿そばにあるという、驚かれるでしょうか。目黒川のほとりにある「北浜こども冒険ひろば」は、毎週水曜と土曜にスタッフがたき火をして、子どもたちを待っています。人々の生活のすぐそばにある公園だから、人々の生活道路になっている公園だから、一人また一人と子どもたちを応援してくれる人の輪が広がっていきます。あなたもぜひ遊びに来てください。(宮里和則)

宿場JAPAN



訪日外国人2000万人を超え、ゲストハウス開業を目指す若手人材が集まっています。ゲストハウス品川宿ではそういった人材に修業経験の場を提供し、新天地でのコミュニティ型ゲストハウスの開業、運営サポートを行っており、これまでに長野須坂、神戸王子公園で開業しています。また品川宿は古い建物や商店数が減り、マンションが増えまちの風貌が変化していますが、今の雰囲気を残すまちづくりを継承できるよう取り

組んでいきたいと思っています。(渡邊崇志)

すまいる・さぼーと品川



2015年6月より就労継続支援事業所A型という障害者のための就労支援施設を東品川に開設しました。健康者の青少年はもちろん、障害者のケアをするべく活動に邁進しております。多くの障がい者の方に通していただくなか、地域の自治体の皆さん、商店街の皆さん、まちづくり協議会の皆さんのご協力をいただき運営中。品川宿交流館の清掃もほぼ毎日行っています。(平石正弘)

KAIDO books & coffee



2015年8月品川区の空き店舗活性化事業の助成を受けて、「旅」をコンセプトにしたカフェをオープン。古本屋「街道文庫」の田中氏にご協力いただき、書籍、約10000冊を揃えたブックカフェです。長野県飯田市、絵本の読み聞かせ、スペインパスク料理展、セルビア バルカンミュージック展など多くの方と、様々な地域とコラボレーションをし、展示やイベントを企画・実施しています。今後とも楽しみに!(佐藤亮太)

品川礎会



平成12年、北品川の祭り仲間が中心となり、買い物や縁日などで賑わっていた頃の商店街に復活させようという志で結成した団体です。現在地域にこだわらず、居木神社例大祭盛上げのための出店、品川宿忍者修業の旅への協力、品川神社に紫陽花を植えていただく等、地道な品川の花の名所づくり活動や、老朽化した名所旧跡案内看板の修繕等の活動を行っています。今後ともまちづくり協議会と

旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会<活動のカタチ>

江戸時代から変わらない、行き交う人たちの一期一会。

さまざまなテーマを持った人たちのまちづくり活動が、今もなお品川宿で繰り広げられています。

まちづくり協議会の役割は、「まち」と「人」、「人」と「人」をつなぐ場づくり。

それが月一度開催される「運営委員会」なのです。

「どなたも、ウェルカム！ どんな提案もオケー！ すべてオープン！」それが私たちのモットーです！

そこには、想いを持った人たちの「やりたいこと」がたくさん集ってきます。

仲間の「やりたい」想いをカタチするために、まちのみんなで応援します。



組織運営

平成7年「東海道品川宿まちづくり計画書」策定の際に掲げた「次代を担う子どもたちに、いつまでも祭りが続けられるまちを伝えていく」を目標に掲げ、各事業やプロジェクトを行っています。毎月最終火曜(原則)21時～品川宿交流館にて「運営委員会」を開催し、まち協運営委員メンバーを中心にごなたでも参加できる会議を行い、設立以来ずっと続く地域の商店、企業、住民、外からやってくる方など世代やテーマを超え交流が生まれている。

●運営委員会(月一)開催/賀詞交流会(年一)/総会(年一)/経過報告所作成/会員管理/会計業務



品川宿交流館運営

2009年1月にオープンした品川宿交流館は、まち協が品川区より観光案内所として運営委託を受けています。散策、観光などで訪れる方々の無料お休み処として、品川宿周辺で地域活動やまちづくりに取り組んでいる人々が交流、情報交換ができる場として、地元の子供たちや、まちと関わりを持とうとする人たちが品川宿の歴史や文化に触れる場としての役割を目指しています。また、品川宿周辺に暮らす、働く、関わりを持ちたい人たちの交流を深める目的でイベントなども開催しています。

- 無料おやすみ処/観光施設 運営/駄菓子屋またあした
- イベント、ワークショップ企画
- 4階イベントスペース管理



まちの広報部

品川宿周辺(第1、2地域センター内)には約67,000の住人がいます。暮らす品川宿をもっと知り、好きになってもらうきっかけづくりと、未来の品川宿のために「まちづくり」に参加して欲しいという思いから、「まちの広報部」を立ち上げました。

ご覧になっているこのホームページ制作をはじめ、Facebook「かわら版」、30町会・自治会にある351ヶ所の掲示板と町内の回覧板向けに配布している刊行物「品川宿かわら版」などの広報活動を行っています。

- HP・Facebookの運営/品川宿かわら版(不定期)制作・発行/メルマガ「品宿まち協通信」配信
- 取材・視察対応/その他まちづくり活動に関わる相談



交流事業

このまちがこのまちであり続けるために、井の中の蛙にならないよう他所のまちを見に行くこと、外の人に見てもらふこと。私達は結成以来、他の地域との交流を大切にしています。そもそもまちづくりを意識したのは東海道のご縁があったからこそ。今後も東海道の各宿場町をはじめ、品川寺の鐘のご縁で結ばれたジュネーブ市、鹿児島熱闘会議と南さつまの方々、飯田市、郡山や草加の商店その他の地域や人々とのお付き合いを末永く続けていきます。

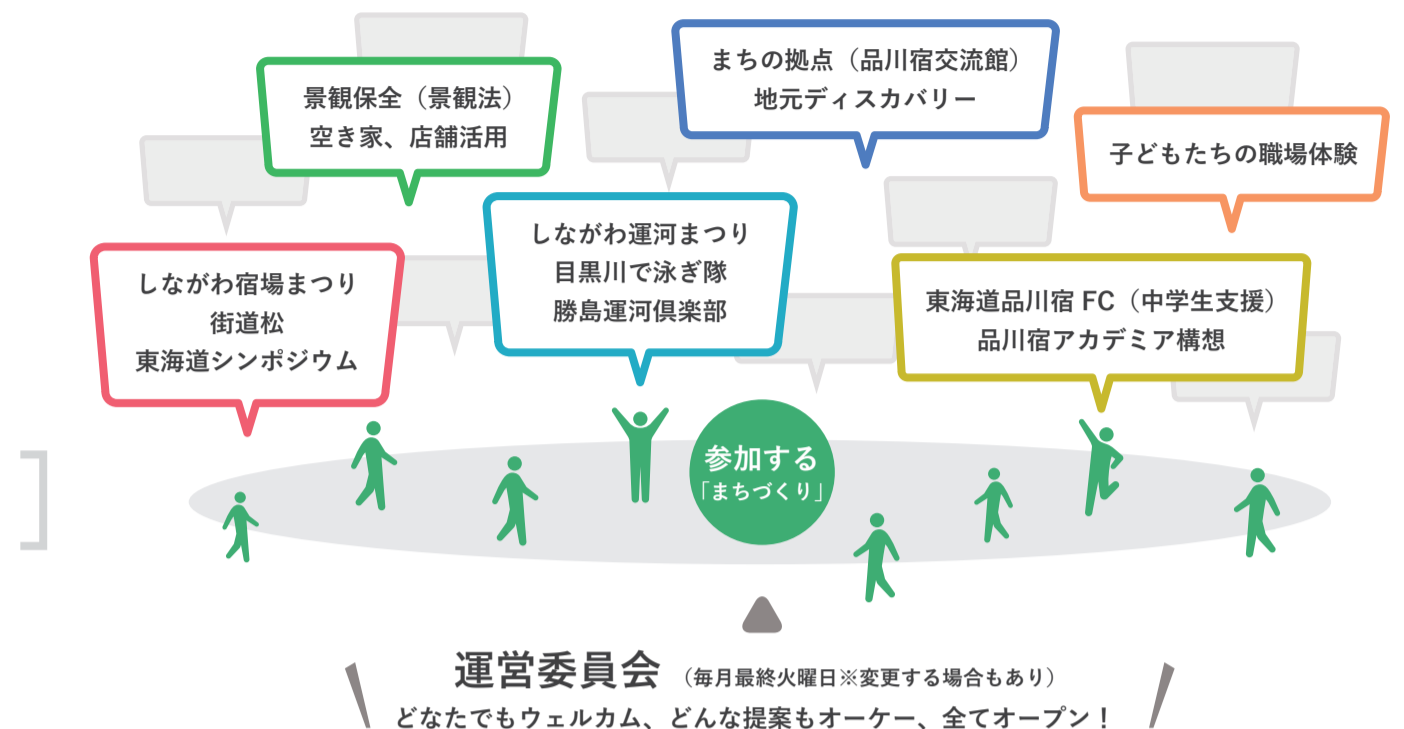
- 宿場まつり
- NPO 歴史の道 東海道宿駅会議
- 東海道シンポジウム ブロック会議
- つなぐプロジェクト(街道松、桜、石畳、まち並み、灯り)
- 地域間交流イベント企画・運営



まち並み整備プロジェクト

「外からきた人たちに、このまち、こどわっているな」と、感じてもらいたい(堀江会長談) 「まち並み整備プロジェクト」として、石畳整備、街路灯整備、店舗ファサード整備などに取り組み、「品川区景観計画」(平成23年)の重点地区に品川宿周辺エリアが指定されたことをうけて、現在は景観アドバイザーの派遣などを行い、品川区と協働した活動に発展しています。また、マンションの建設ラッシュや、品川宿南地域周辺の大規模な再開発計画などの新たな課題に対しても、「品川宿のまちの個性」が失われてしまうことがないように働きかけを行っています。

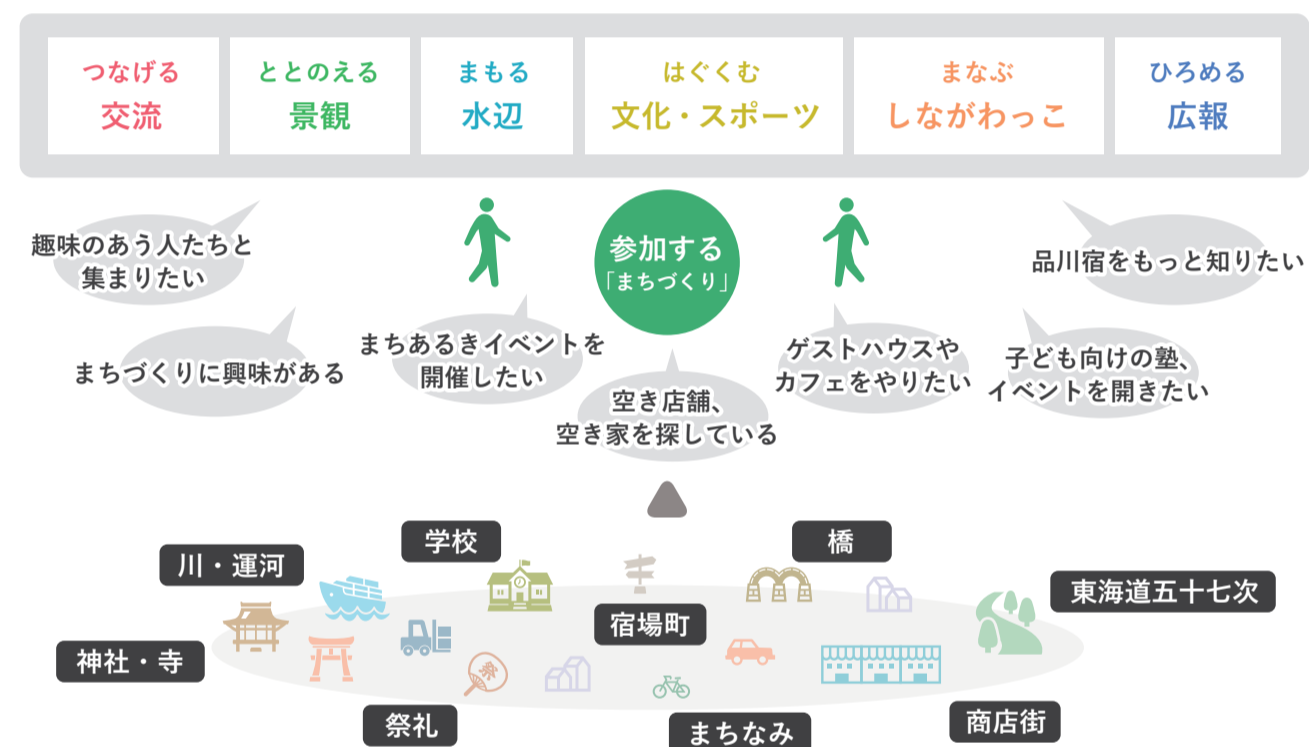
- 景観アドバイザー
- 品川宿南地区再開発



カタチになった「まちづくり」活動実績

運営委員会 (毎月最終火曜日※変更する場合もあり) どなたでもウェルカム、どんな提案もオケー、全てオープン!

まちと人をつなぐまちづくり協議会の役割



まちの宝もの品川宿の資源

品川駅南街区のまちづくり



かねてより品川駅・田町駅周辺のまちづくり計画が進められてきていますが、今まで明確な計画の発表が遅れていた京浜急行の立体化計画が年頭に東京都、品川区、京浜急行電鉄の共同で、台場小学校にて開催されました。今回は地域への計画案の説明会という事で、今後諸条件を詰めて、平成30年1月頃に都市計画案の説明会が開催される予定。いよいよ京急八山、北品川踏切解消の京急立体交差計画が動き始めました。品川区では北品川駅前広場計画を進める計画で、今後早急に地域の意見を一本化して、品川区に地域の意見を反映していかなければなりません。北、東品川に大きな影響を与える事業となりますが、合わせて品川駅南街区の再開発にもインパクトを与える事が必至です。町ぐるみの検討を進めなくてはならない事に成りました。(新実正義)

新版まちづくり計画書プロジェクト

まちづくり協議会のパイプとしてきた現行の「東海道品川宿まちづくり計画書」。ここに書かれた多くの計画は高い確率で達成されています。そろそろ次世代の品川宿のために新しい計画書をつくらうと3年前に「新版まちづくり計画書づくり」が始まりました。まちづくりは継続的である。20年後、30年後のまちをイメージして、まちに残さなければならないもの、捨てるものは何か。そして今、みんなの小さなアイデアや大きな夢を全部書き並べることからスタートしています。



品川宿アカデミア構想

月一開催の「運営委員会」での提案や、まちづくりの話し合いの中から生まれた企画などを継続的に考える「勉強会」です。子供から高齢者までが品川宿を遊び、学び倒せるような場づくり「品川宿まちの学校」企画や、品川区景観アドバイザーの方々にサポートしてもらいながら、空き家、空き店舗などの活用を大家さんと一緒に考える「まちの不動産屋さん」、新しく移り住む方々に品川宿を知ってもらうディスカバリーツアー企画などを構想中。

- 法政大学院デザインスタジオ 作品発表会
- まちゼミ ●品川宿史談会
- 地元ディスカバリーツアー/空き家空き店舗視察/まちの学校・ワークショップ

旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会 会員募集のご案内

まちづくりはみんなでたのしく! どんな提案もオケー、どなたでもウェルカム、すべてオープンです。品川宿では今日もどこかで何だか楽しそうなことが動いています。お預かりした会費は各プロジェクトの運営費としています。

1. 広報活動(会報「みこしだこ」,「品川宿かわら版」の発行、HP・FB運用など)
2. 交流館運営(来宿者へのおもてなし、地域活動・イベント受入など)
3. サポート事業(区内学校支援、伝統文化実演、まちゼミ、サッカースクールなど)
4. 地域事業の主催・共催・協力(しながわ宿場まつり、しながわ運河まつり、品川浦・天王洲運河ルネッサンス協議会、史談会、キッズハロウィンパレードなど他多数)
5. 応援プロジェクト(しながわ福祉住宅ネット、品川人力車、ゲストハウス品川宿など他多数)

年会費/団体・法人 30,000円 個人 10,000円

一度遊びにいらしてください。ご連絡お待ちしております!

品川区北品川2-28-19 品川宿交流館
電話 03-3472-4772 FAX 03-3472-4770
メール machikyo@west.cts.ne.jp
HP(品川宿おぼえ帖)http://shinagawa-syuku.net/



水辺プロジェクト

江戸時代以前より、品川湊(港町)として栄えた品川宿には、その歴史や文化が多く存在しています。「水辺の文化を伝えたい」「地元の子供たちに、水辺を身近に感じ、楽しんでもらえるような活動を行い、環境教育や防災教育につなげたい」を原点に、水辺プロジェクトを実施しています。目黒川流域、東品川海上公園、天王洲周辺、勝島運河周辺、近隣小学校のプールなどを主な活動エリアとして、清掃活動、Eポート体験、釣り・生き物調査、あさりまき、しながわ運河まつりなどを行い、品川区や周辺企業、近隣小中学校から多大なるサポートを受け、活動を推進しています。

- しながわ運河まつり
- 目黒川で泳ぎ隊/目黒川橋・勝島運河橋/勝島運河倶楽部
- 天王洲エリア交流



東海道品川宿スポーツタウン・プロジェクト

現在は、地元の中学生を対象とした競技フットサル「東海道品川宿FC」や「FC品川サッカースクール」を、松村監督の指導のもと行なっています。2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、子どもたちがさらに楽しくスポーツに取り組めるよう「スポーツを通じたまちづくり」に取り組んでいきます!

- 東海道品川宿FC(小中学生、社会人の競技フットサル)
- FC品川サッカースクール(協力:中学校体育連盟品川支部、(財)六行会、品川区少年サッカー連盟等)
- 品川区立鈴ヶ森中学校サッカー部への外部指導者としての協力
- パトロールマラソン



しながわっこプロジェクト

「しながわ」を愛する子供たち「しながわっこ」を増やそう!と始めたプロジェクト。城南第二小「まち歩き」、品川学園の自治会活動などジャンルを問わず、近隣の小中学校と連携し、企画を通じて活動しています。どの

企画も高い評価をいただき、併せてプロジェクトへの関心も徐々に高まりを感じています。「しながわっこ」づくりといういささか高い目標を掲げていますが、地道にコツコツと「継続」していくことがその目標達成への道であると感じ、近隣小中学校やそこに通う親御さんたちとともに活動を重ねています。

- 品川宿交流館「職場体験」受け入れ
- 城南第二小学校・台場小学校「まち歩き」/品川学園(自治委員会)など各学校の取り組み
- 品川宿小学校六校対抗「東海道駅伝・マラソン」